



物価高対策など公明党の実績を訴え、絶大な支援を呼び掛ける高木政調会長（中央）ら＝20日 札幌市

現場の課題 着実に解決

臨時交付金拡充 LPガス代も軽減

札幌市で 高木政調会長

公明党の高木陽介政務調査会長は20日、札幌市内で開かれた時局講演会に出席し、「公明党には、地方議員と国会議員のネットワークがある。この力を生かして現場の課題を拾い上げ、着実に解決してきた」と訴え、統一

地方選の勝利へ絶大な支援を呼び掛けた。

高木政調会長は、党が推進してきた電気や都市ガス料金などの負担軽減策を紹介。「地方創生臨時交付金の上積みによってLPガス（プロパンガス）代の引き下げを実現させ、国民の生活を守る」と強調した。少子化対策については、党が昨年11

月に発表した子育て応援トータルプランに触れ、「妊娠から出産そして育児まで切れ目なく支える伴走型支援を強力に進めていく」と話した。

会合では、北海道議選に挑む森しげゆき道議（札幌市白石区）と札幌市議選に挑む、わたなべ泰行市議（南区）が必勝の決意を語った。